

茨木病院

住所	茨木市総持寺 1-4-1	電話	072-622-2721
病床数	350 床	病棟数	6 病棟

人権センターニュース No. 92 より
療養環境サポーター活動報告

平成 21 年 8 月 7 日訪問

◆ 病院全体 ◆

病棟が回廊式で吹抜けや窓が多く、採光が工夫されている。ナースコールは目が行き届かない廊下やトイレに設置してあり安心できる。任意入院の開放処遇を遵守している。

【電話、面会】

緑の公衆電話が、本館の 3 病棟に各 2 台、東館の 3 病棟に各 1 台、外来 2 台で合計 11 台設置。患者の利用頻度の多さが伝わる。

本館：デイルームと詰所から離れた、廊下のつき当たりであり。後者は引き戸のついた個室で、椅子があった。外からは見えにくく声も漏れない。電話の前には患者の権利宣言が貼られていた。

東館：詰所から離れたデイルームと廊下に有。三方を透明の大きな衝立で囲われている。

携帯電話：入院時に持込できない。

・面会室：病棟内にある。デイルームや病棟内のベンチ等でも面会できる。

・面会時間：東館は 9:00～19:00、本館は平日 13:30～17:00/日祝日 10:00～17:00。

【顧客満足委員会】

意見箱への回答は 1 週間毎に拡大文字で掲示。「24 時間クーラーをつけてください。暑くて眠れません。←8 月 1 日より 2 時間の延長をさせていただきます。27 度を超えた時は運転させます」「トイレの手の温風機の音が夜中うるさくて眼がさめます。←風量を減らします」「毎日シャワーを浴びたい。←東館・本館とも可能です。看護スタッフに申し出を」回答が 1 週間ごとに追加掲示される。

【空調設備】

冷房は 6 月～8 月までだが、5 月や 9 月でも暑い日(夜間の気温が 27 度を上回る時)には運転。通常 8 時～21 時まで運転するが、8 月 1 日～9 月初旬までは、23 時まで延長する。

【地域医療連携室・作業療法プログラム】

平成 18 年 4 月に連携室を創設。作業療法は、個人が選択できる 10 のプログラムがある。近隣の小学生のボランティア等も受入れている。長期入院の方が多い病棟での作業療法プログラムの中に「社会資源見学ツアー」等各職種が連携して長期入院者に対し共同企画を行っている。

【個室】

各病棟に 1～3 室、室内にトイレが有。個室料金は 2000～3000 円。入院者が増えると隔離室だけではなく個室を外から施錠して使うことがあり、その際は個室料をとらない。

【病室】

4 人部屋が中心。ベッド毎に、ナースコール、タンス、鍵付ロッカーが設置。テレビは持込可能だが、実際にはラジオ、CD 利用者が多い(電気使用料 1 日 20 円)。カーテンが、ベッド周りとは外側の窓にあり、ベッド周りのカーテンは閉められていた。

【トイレ】

個室にナースコール有。手洗い場に消毒液、温風乾燥器等が設置。明るく、尿臭もなく清潔。

【金銭管理料】

平成 20 年 11 月より管理料を 105 円/日とした。【食事の選択メニュー】毎週水曜日。

【入浴】週3回。各病棟に家庭用浴室があり 13:30～15:00 にシャワーを利用できる。

【院内売店】ある。院内喫茶もあり、就労移行支援事業として実施している。

◆ 本館 3F(閉鎖・急性期治療・男女) ◆

病棟の様子

デイルームや喫煙スペースで過ごしている患者が多かった。面会が多く、面会室や廊下のベンチで話していた。リラクゼーションのOTプログラムが行われていた。テレビを見たり、OT を見ている患者も多く自由な感じだった。

【隔離室】

保護室は明るくトイレに仕切り壁があり、水も自分で流すことが可能。緊急時に使用する別の出入口もあった。トイレは壁で仕切られていた。壁を隔ててベッドがあった。時計が置いてあった。隔離室と同じゾーン(他の患者は入れない)に観察室(個室、外から施錠できる)がある。

患者の声

「入院して1ヶ月。外出したいが頼んだことない」「OTは週2回。内容も多様であるがあまりやりたいと思わない」「食事に関して別に不満はない」

◆ 本館 4F(閉鎖・男性病棟) ◆

患者の声

「気温や湿度が廊下の大きなデジタル表示でみえるので判りやすい」「シャワー式便座は、肛門に刺激があつてでやすい」「部屋でラジオを聞いていることが多い。使用料は1日 20 円。私には楽しみ」「ここに来たのは 20 歳、今は 70 歳代。月曜日に 500 円渡されると、飲み物を買いに行く。10 年以上前に、作業で 700 円/時もらったことがある。あんなふうな仕事をまたしたい」「外出した時、歩いていくうちに方向がわからなくなって派出所にかけこんだ。それ以来、外出できない」「ごはんが固い。義歯だから軟らかいのがいい」「診察はゆっくり話できる」

◆ 本館 5F(閉鎖・女性) ◆

病棟の様子

訪問時、掲示物は詰所の窓の上に少しあるで上に貼っているため読みにくかった。「特定の患者が掲示物を見れば、全てはがしてしまい、他の患者とトラブルとなった。それで高い場所に掲示した。意見箱の回答など閲覧を希望される方は詰所まで申出て下さい、と掲示。また、掲示物と同様の内容は『病院のご案内』の中に入れて、全入院者に渡ししている。精神医療審査会の掲示は、壁へのアクリル板固定を検討しており、今月中には設置を予定」との説明。

患者の声

「ごはんはあまり美味しくない。量も少ない」「2 度目の入院。退院して 1 週間で再入院になった」「ケースワーカーはしっかりしている」「ものを盗られた。自分の管理が悪いと言われた」「10 年前はみんなで外に行ったりしたが今はない。外に出たい」「OT はいろいろあつて楽しい」「退院したい。生活保護を受けることが出来ても住む所がないと言われた」複数の患者「担当ワーカーの名前を知ってる」PSW が何をやる職種なのかを患者は理解していた。

◆ 東館 1F(開放・精神一般 15:1・男女) ◆

合併症の方を受入れている病棟。地域医療機関と連携している。「患者同士の電話の取次ぎは、午前9時～午後9時までとさせていただきます」と掲示あり。

浴室には、ストレッチャー2 台と機械浴1個、ユニットバス 1 個、大きな浴槽と 3 種類の浴槽がある。着替えは、外のホール部分に二重カーテンをし、ストレッチャー1 台を洋服や荷物の置場として使用し、入浴が終わると片づける。

患者の声

「自分から入院した。ユニットバスは毎日入っている」「診察は普段は週1回、希望を出すとゆっくり聞いてくれる」「お薬手帳をもらった。薬の名前はわかったけど、(量が)ようけ」「看護師やケースワーカー同行で、援護寮やグループホームなど見学に行っている」「外出は、朝7時～夜 6 時半まで自由に出入られる」「部屋にカーテンがついていて安心。引き出しの鍵も、自己管理している」

◆◆◆ 積極的な取り組み ◆◆◆

退院支援・地域での取り組み

地域移行支援室(PSW)が中心となって、長期入院患者の退院支援を行っている。各病棟の看護師、OT、地域活動支援センターのPSW2名、保健所の職員と一緒に退院できそうな患者を検討する。医師やPSW以外の職員も退院援助に関わることで、常に退院を視野に入れて情報を共有し、チーム医療ができるようになった。

PSWは現在7名、病棟担当は5名。地域医療連携室に専属のPSWが2名。以前は病棟担当や入院受け入れ等を兼務していたが、病棟担当が患者との時間をより多くとるためPSW2名を増員。結果、地域移行専属スタッフ2名を確保し、地域の診療所、作業所、地域生活支援センター、病院、保健所等の連携を深めることにつながった。

通信・面会のしやすさ

電話機が静かな所にあり、プライバシーが守られている。面会室が病棟内にあり、面会者が周囲に気兼ねなく話ができる環境がある。面会者の出入りから、風通しのよさを感じられた。

患者の声への対応

「意見箱および皆さまからの苦情・相談・ご意見については院内人権擁護委員会で検討し改善につとめます」と掲示があり、意見箱は使いやすい環境である。1週間ごとに掲示している「患者の声とそれの対応」などは、入院患者の声への早い対応が見受けられ、安心感に繋がる。

情報の公開性

ホームページには「外来担当医表と氏名」、「H19年度診療実績」の中に入院患者数、平均在院日数、外来患者延べ数などが掲載されていた。また、診察時間や面会時間も掲載され、患者や面会者にとって分かりやすい。

◆◆◆ 検討して頂きたい点 ◆◆◆

個室の臨時的な保護室使用について

大阪府への質問

観察室や個室を外から施錠して臨時使用することがあるとの説明だった。保護室として臨時使用するのであれば、使用時の基準は守られている事が必要と思われるが、これが守られていれば保護室数を越えて鍵かけ使用して良いのでしょうか。またその際、一時的使用の認められる時間設定等の規定はあるのでしょうか。

個人情報について←病院へのおたずね

本館3階で、ホールから詰所の中をみると、入院患者の氏名一覧を読めた。他の患者や家族の目に触れない工夫が必要ではないでしょうか。(病院:ホワイトボードで隠しています。その日の入院患者や転棟、移室等の患者を記入します。本3、本4、本5、全て同じようにしていますが、本3は入退院が多く、段々はみ出していったようです。本日当該病棟との師長に見えない位置に書くように指示いたしました。)

段差←病院への感想

本3、本5の浴室は、浴槽と洗い場との段差が急で大きく、高齢の患者や介助の職員に負担が大きいのではないかと感じた。東1のユニットバスに入る上がり段の面積は、より大きい方が足腰の弱い方も安心できると感じた。(病院:浴室に限らずちょっとした段差で転倒の可能性がある。特に東館は建物が古いので、補修の必要を感じている。全体の中で検討していく必要があるので、ハード面については少し時間をいただきたい。)

H20 大阪府精神保健福祉関係資料より

(茨木病院分)

310名の入院者のうち統合失調症群が247名(80%)、気分障害が32名(10%)、認知症など症状性を含む器質性精神障害が7名(2%)。入院形態は任意入院110名(35%)、医療保護入院199名(64%)。在院期間は1年未満が126名(41%)、1年以上5年未満が64名(21%)、5年以上が120名(39%)。(H20.6.30時点)